

みみずくの森



ウクライナに平和を

2022年4月
七尾市立図書館
友の会発行
発行責任者
芹田玲子

五月二十一日に総会―畠山浄さんが講演

友の会は令和四年度の総会を五月二十一日(土)午後二時から七尾市相生町の常福寺で開きます。また、総会に続き文化講座として、「七尾古写真ア

ーカイブ」をインターネットで公開中のご住職・畠山浄さんが講演される予定です。

なお、駐車は七尾市役所前駐車場でお願いします。

「本を読む仲間集い」お詫びとお礼

二月二十六日に予定していた令和三年度・本を読む仲間の集い「半島と旅情文学」七尾湾岸うたの旅」は石川県の新型コロナウイルスまん延防止措置の延長

に伴い中止とさせて頂きました。申込まれた方には紙上を借りてお詫びとお礼を申し上げます。出来なかつた講演は次年度に行う予定です。

七尾ふるさと文庫館オープン記念

宮下英樹さんの絵入りサインを展示

二月二日、図書館内に「七尾ふるさと文庫館」が開館し、オープン記念として七尾市出身で人気漫画家・宮下英樹さんのトーク&サイン会がありました。宮下さんは「子供のころ学校の職員室を覗き、先生の観察をするのが好きだった」と語りました。そこに宮下さんの人間観察の出発点があるようです。

サインは一枚一枚手書きの絵入りで、友の会にも描いて頂いた色紙は図書館内・友の会コーナーに展示してあります。

藤平朝雄さん来館

友の会メンバーと懇談



藤平朝雄さんが、三月八日「七尾ふるさと文庫館」の見学に訪れたあと、友の会メンバーとの懇談に参加されました。好々爺そのものの藤平さんは「私はただ先に生まれただけで、先生と呼ばれるのは面はゆい。酒を呑むだけが楽しいの人間です」と謙遜しながらも、「北海道から沖縄まで旅して、どこへ行っても暖かい人情があった」と話は尽きませんでした。

なお、その場で藤平さんに非公式ですが、次年度講演を打診したところ、内諾をいただきました。講演が楽しみです。



本の虫

池波正太郎
「真田太平記」
第一巻に、戦から助け出された向井佐平次が信州別所の湯で真

田源二郎(のちの幸村)に湯けむりのなか運命的な出会いをする下りがある。いつだったか、その別所温泉にある古利安楽寺を訪ねるバス旅行があった▼参拝を終えた直後のこと、上田に向かう街道で乗用車がバスに突っ込んできた。運転手は急ブレーキをかけ、客席を向いて名調子だったガイド嬢はフロントガラスに後頭部をしたたか打ちつけて倒れ、呼びかけにも応えない。幸い乗客に怪我は無く、救急車とパトカーが来るまで手分けして交通整理に当たった。その後、現地手配されたバスに乗り換え、ガイドも付かずコースをひたすら走り七尾に着くと、バスは再び信州へ夜の道を帰って行った▼数年後また誘われて観光バスの客となった。あのガイドさんが乗りこんでいた。健気にマイクをにぎる姿に、我々仲間も胸のつかえがやっとなされたのだった。

七尾古写真アーカイブから



「梵鐘供出の図」

第二次世界大戦中、昭和17年10月4日に七尾市内の寺院の梵鐘が政府による金属供出命令によって供出されました。現在の市役所の敷地内にあった袖ヶ江小学校の前庭に集められた梵鐘たちを前に読経する僧侶たちの姿です。仏法の響きが世界中に広まるようにとの願いによってつくられたはずなのに、兵器へと姿を変えさせられようとしている梵鐘たちの前で僧侶たちはどんな思いを胸に読経したのでしょうか。翌日、袖ヶ江小学校が火災により全焼したため、梵鐘のたたりではないかなどと、さまざまなウワサが市民のあいだで流れたそうです。

(ホームページから引用)

七尾古写真は下記URLでご覧下さい

<http://www.nanaoarchive.com/>

カサブランカ読書会

元気で気高く慎み深く

半田 良枝



平成三十年度本を読む仲間のついで、團野光晴先生の講演「私の読書」昭和平成を振り返って」をお聴きしました。その後グループに分かれミニ読書会「車中のバナナ」について話し合いました。初めての体験で楽しいひと時を過ごしました。この時の読書会に参加した友人四名で発足したのがカサブランカ読書会です。ネーミングは、元気で何よりも気高く(夢です)慎み深い年を重ねたいとの思いで付けました。会場もテキストも図書館にお願いし、会議室も使わせて頂いています。

とても助かっています。自分達ではひよっとして選ばないかなと思うテキストも時にはあります。面白く読ませて頂いています。現在は新たにいられた方々と五名で楽しく集まっています。「年を重ねると、どうしてこんなに忙しいのかね」と話ながら、一ページずつ丁寧に(飛び飛びに)乱読しています。三月二十一日でまん延防止措置解除になったとはいえ、これからも気をつけて集まりたいですね。

この本

一般人名語録

〈永六輔著 講談社刊〉



「しらたきの切り口は丸くて、糸こんにゃくは四角です。作り方でそのなるんです。おでんの時にでも、ちゃんと見届けてもらなさい」とあったので見てみると、たしかに○と□でした。しらたきはシャワーのような穴のあいた筒から材料を押し出し、糸こんにゃくはこんにゃくを千切りにするそうです。他に「一か八かって言葉を、NHKか、フジテレビか、って思ったバ

カがオレ」「裁判所でき、弁護士同志が対決して激しくやりあっているうちに『出るところに出ようじゃないか』って言ってさ。シーンとしてから裁判長まで大笑い」など、永さんが仕事や旅の途中で聞いたことを書き留めた一冊です。この本は石川県図書館ネットワークで取り寄せることができます。また、同シリーズの「普通人名語録」が七尾市立図書館にあります。(菊)



能登さくら駅(愛称) 撮影/寺野時雄

春のクッキング アカモク

春、七尾の魚屋さんの店先に並ぶ海藻「春告げ草」ともいうそうです。アカモクはフコイダン、フコキサンチン、などを多く含み免疫力の向上や内臓脂肪を減らし、血糖値を下げる効果があるそうです。

下ごしらえを仕方は・

- (1) 生のアカモクを水につけその間にゴミなどを取り除く
- (2) 太い茎を切り離す。手でしごくのも良いのですが、私はまな板の上に包丁で切り離します
- (3) 沸騰したお湯でゆでると、きれいな緑色になります。ザルに獲り、さらに水でしっかり洗う
- (4) ザルで水を切り、まな板の上で小さく叩き刻む。トロトロ、ネバネバしてきたら出来上り、食べきれない時は冷凍します

(メニュー例)

- 三倍酢、どんぶり、味噌汁、佃煮など(Qちゃん)



講演録音テープをCD化友の会が保存する過去の講演録音を、ななお音訳グループの協力でCDに移す作業が始まりました。今後、図書館でも公開の予定です。会員募集中本を愛する友の会です。入会よろしくお願います。



入会の方には葉を進呈